

鈴木重男町長 岩手県町村会長に就任

5月14日、岩手県町村会の臨時総会において鈴木重男町長が新たに会長に選任され、23日に就任しました。

同会は県内19の町村で構成する組織で、町村の共通の課題を県や国に伝えるなど、連携した取り組みで町村の発展を目指し活動する機関です。会長の任期は令和5年5月22日までの2年間です。



達増拓也県知事(左)に要請書を提出する鈴木町長

平庭高原 つつじまつり

6/5(土)▷20(日)
10:00~15:00



主なイベント ※内容は変更する場合があります

◆葛巻町開催 (5日(土)~6日(日)) 森のこだま館

- ・オープニング
- ・写真展
- ・レンタサイクル
- ・各種体験コーナー
- ・テイクアウトコーナー
- ・塩の道トレッキング
- ・謎解きゲーム
- ・ワイン工場案内

◆久慈市開催 平庭中継基地駐車場

- 13日(日) ・屋台村 ・つつじの苗木販売 ・歌謡ショー
- 20日(日) ・平庭闘牛大会つつじ場所

問い合わせ 葛巻推進課 ☎66-2111 内線233

あいおいニッセイ 森林保全に寄付金

植樹祭では、町と「まちづくりに関する包括連携協定」を結んでいるトヨタグループの「あいおいニッセイ同和損害保険(株)」の職員皆さんが、町民とともに植樹を行いました。

ほか、自治体やNPO法人が行う環境保全活動に対して寄付を行っており、4月26日には町に50万円の寄付金をいただきました。

寄贈式で、同社鳥羽俊夫常務執行役員は「森林資源が豊かな葛巻町の、環境づくりの取り組みに役立ててほしい」とあいさつし、鈴木町長は「本町は昔から森林と深い関わりの中で暮らしてきました。植樹や森林の手入れ、薪づくりなど、

町民とともに進める森林保全の事業に有効に活用させていただきたく」と感謝を述べました。

同社は、令和4年度までに総額150万円を町に寄付することとしており、町では今後、植樹祭の苗木の購入のほか、秋に開催予定の「薪・牧・巻・トリプルまきフェスタ」など、町内の方が、森林に親しみ森づくりを体験する事業に活用する予定です。



①寄付金を贈呈する鳥羽常務と受けた中島健盛岡支店長(左)と成澤道康自動車営業課長

第22回葛巻町植樹祭

豊かな森林を守り育て次の世代へ

園児、小学生ら 2年ぶりに植樹

第22回町植樹祭(町産業振興協議会主催)は5月15日、くずまき高原牧場「風の丘展望台」で行われ、町内の保育園児や小学生、町内各企業、林業関係者など約200人が参加し、レンゲツツジの苗木200本を植樹しました。

鈴木重男町長は「人は森なくしては生きることができない。緑を守り育てる取



つつじの苗木を植えて優しく土をかける園児

り組みを、次の世代にしっかりとつなげたい」とあいさつしました。参加者は、植樹の仕方の説明を受けた後、「風の丘展望台」の遊歩道沿いにレンゲツツジの苗木を植え、手で土をかけた後、根元を踏み固めながら一本ずつ丁寧に作業していました。

昨年度は新型コロナウイルスの影響により参加者に関係者に限定しましたが、今回は感染症対策を講じて2年ぶりに子どもたちも植

樹に参加しました。葛巻地区森林愛護少年団の中村暖天さん(小屋瀬小6年)は「植える時にごみを入れないように気を付けたり、しっかり何回も踏んだり思ったより大変だった」と感想を述べ、瀧澤慶次郎さん(同)は「植えた後、土の水分の蒸発を防ぐために根元に枯葉をかぶせることを初めて知った」と語り、植樹を通じて森林保全の大切さについて学びを深めたようでした。



トウガを使って苗木を植える穴を掘る子どもたち



植樹終了後に記念の標柱を建立する参加者の皆さん